

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2007年6月20日発行 第50号 (毎月1回発行)

今月の内容

教務からのお知らせ	P4 ~ P7
事務室からのお知らせ	P8 ~ P9
保健室・カウンセリングルームからのお知らせ	P10 ~ P11
生徒支援からのお知らせ	P12
進路支援からのお知らせ	P13 ~ P14
高校生ワークショップのご案内	
6月の聖句・年間聖句	

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>



前期を締めくくる大切な時期をむかえて

梅雨の季節となり、雨がいやでついつい出不精になってしまう。みなさんはそんな経験がないでしょうか。でも、梅雨がわたしたちの生活にとって、とても大切な季節であることをみなさんをご存知だと思います。時には、雨を楽しむところをもっていただければ、身近な草花の可憐さや虫たちの営みを垣間見ることができると思います。

さて、この時期は生徒のみなさんにとってスクーリングも終わりに近づき、前期を締めくくるときでもあります。みなさんの学習状況はいかがでしょう。

学校からは6月4日に「前期学習状況報告(第1回)」を発送していますので、確認されていることと思います。現在、第2回の前期学習状況報告を準備していますので、送られてきたら必ず確認してください。特に、スクーリングの出席時数には注意してください。また、レポートの作成については、最後まであきらめないで、生活リズムを崩さないよう配慮して取り組んでください。

前期レポートの最終締切日は7月6日(金)です。各回の提出期限が過ぎているレポートでも最終締切日までは提出できます。粘り強く取り組みましょう。(くれぐれもレポート提出については間違いの無いようにしてください)

各講座とも、規定のスクーリング出席時数、レポート合格回数をクリアしていなければ、単位認定(期末)テストの受験をすることができません。

残り一週間ほどの間ですが、十分に注意して学習をすすめていただきたいと思います。

本校の卒業要件

1. 在籍期間が通算3年以上。
2. 必修科目を含めて74単位以上の修得。
* 本校での単位修得にはスクーリング課題とレポート課題合格が大前提です。
3. 特別活動の出席時間数が30時間以上。

スケジュール

予定日程表

日	曜	行事予定など
6 月		
6/25	月	〔学習状況報告(2回目)〕発送(予定)
6/26	火	特別活動「音楽鑑賞会：RAPをするだけ」
6/30	土	保護者ととともに進路を考える会(今年度卒業予定者・保護者対象)街美化ボランティア
7 月		
7/1	日	
2	月	ホームルーム
3	火	
4	水	集中講座「海洋スポーツ」「海洋体験」「国際平和セミナー」の校内スクーリング
5	木	進研模擬試験(1～3年次)・学習アシストルーム最終日
6	金	レポート最終締切り(持参・郵便消印)・通常スクーリング最終日(一部講座を除く)
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	(海の日)
17	火	
18	水	(再提出レポート提出〆切、17時必着)
19	木	
20	金	〔学校通信〕発送(予定)
21	土	夏期休暇開始(～8/26)
22	日	
23	月	
24	火	〔前期最終学習状況報告〕〔受験資格確認表〕〔単位認定テスト(期末テスト)の範囲・時間割〕 〔レポート解答例集〕発送(予定)
25	水	
26	木	〔課題テスト〕発送(予定)
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	
8 月		
8/4	土	集中講座「国際平和セミナー」(～8/6)
8/10	金	学校閉館期間(～8/16)
8/12	日	〔集中講座〕海洋スポーツ・海洋体験(～14日)
8/20	月	〔学校通信〕発送(予定)
8/26	日	夏期休暇終了
8/27	月	前期単位認定テスト(期末テスト)開始(～8/31)

教務部からのお知らせ

【集中講座の校内スクーリング】 7月4日(水) 6限目(15:00~15:50) 該当者のみ

集中講座「海洋スポーツ」「海洋体験」「国際平和セミナー」に登録している人は、第1回の校内スクーリング(必修)に出席してください。準備についての重要な連絡があり、これを無断で欠席すると現地スクーリングに参加できなくなります。なお、登録者には、参加に関する書類一式がすでに送られています。

【「学習状況報告(2回目)」の発送】 6月25日(月) 講座登録者対象

前期の講座登録者には、「2007年度 前期学習状況報告(2回目)」を6月25日(月)に発送する予定です。スクーリングの出席回数とレポートの提出状況一覧が記されますので、残りのスクーリングがある講座は逃さないように、また、未提出および再提出のレポートは、最終締切り日〔7/6(金)〕まで、最善の努力を尽くしましょう。

さらに、前期最終の「学習状況報告」は、7月24日頃発送の予定です。この報告で、各講座についての単位認定テスト(期末テスト)受験可否をお知らせします。

【ホームルーム】7月2日(月)6限目 全員対象

下表のとおり、年次で時間を分けてホームルームを行います。内容は、夏期休暇を含めた今後の日程確認、および単位認定テスト(期末テスト)についての注意など諸連絡です。

個人用の時間割に予定として載っていませんので、忘れないよう自分で記入しておきましょう。教室は当日掲示します。(特別活動1時間)

	時間	クラス
6限目	15:00~15:25	3A 3B 3C 3D 3E 3F 3G 3H
	15:25~15:50	1A 1B 1C 1D 2A 2B 2C 2D 2E 2F

【「体育」の補充スクーリングおよび代替課題のある講座について】

「体育 a・b・c・e・f」は、レポートを規定回数提出した人で、出席時数が不足の人を対象に、7/9(月)~7/11(水)に補充スクーリングを行います。

くわしくは担当教員にご確認ください。

なお、7/6(金)までに、レポートを規定数提出していない人は、補充スクーリングに出席しても、履修認定されませんのでご注意ください。

また、理科の一部、芸術の一部、家庭の一部、英語の各講座は、スクーリング代替課題があります。

出席時数が不足する場合は、スクーリング代替課題の提出で出席を補ってください。

ただし、補充スクーリング、スクーリング代替課題で補える数は、講座ごとに上限が決まっていますので十分注意してください。

【「韓国朝鮮語入門」代講のお知らせ】

「韓国朝鮮語入門」の6月18日(月)、25日(月)のスクーリングは、康有鎮さんが6月末まで病気療養のため、朴正浩さんが代講をします。

【レポートの最終締切日】 7月6日(金) 全員対象

レポートの最終締切日は7月6日(金)で、学校の事務室では17時まで受け付けます。

(集中講座など一部の講座は除きます。)

郵送は7月6日付消印まで有効ですが、ポストに投函^{とうかん}してもそのポストの収集時刻が過ぎている場合は当日消印が付きませんので、集配業務をしている中央の郵便局などにもっていく必要があります。

最終締切りは厳格に行いますので、十分に注意してください。

最終締切りに後に再提出になったレポートは、レポート表紙に赤字で記された日時(7月18日17時まで)、学校の事務室必着 (郵便消印ではありません) で受け付けます。

ただし、最終日に、レポートを白紙ないし白紙同然で提出した場合は不合格となり、再提出できません。

レポート提出については、「事務室からのお知らせ」もよく読んでください。

街美化ボランティア

6月30日(土)

16:00 から約1時間(雨天決行)

*作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届出用紙と学校の参加票の両方に記名してもらいます。

(特別活動1時間。遅刻・途中退出の場合は認定できません)

重要！！

【単位認定テスト（期末テスト）について】

単位認定テスト（期末テスト）は、すべての講座で実施します。

単位認定テスト（期末テスト）には、**筆記テスト**、**課題テスト**、**実技テスト**の3つの実施方法があります。

各講座のテストが、どの実施方法でなされるか、よく確認して、間違いのないようテストを受けてください。（各講座のテスト実施方法は、一覧表にしていますのでご確認ください）

なお、テスト受験資格については、7月24日(火)に発送の「受験資格確認表」にてお知らせする予定です。

テスト実施方法

単位認定テスト（期末テスト）には、**筆記テスト**、**課題テスト**、**実技テスト**の3つの方法があります。各講座は、この3つの方法のいずれかで、単位認定テスト（期末テスト）を実施します。

筆記テスト

筆記テストは、テスト期間中にテスト日時を決めて実施します。

前期のテスト実施期間は、8月27日(月)～8月31日(金)です。

テストは、通常のスクーリングの時間割とは違う時間割で実施します。

テストの時間割は、7月24日(火)に送付する予定です。

課題テスト

講座の履修が認められた人（スクーリングとレポートの条件をクリアした人）に、課題テストを送付します。

みなさんは、自宅で課題テストに取り組み、締切までに提出してください。

締切までに提出されなかった場合は、単位の修得はできません。

課題テストは、7月26日(木)に送付する予定です。

課題テストの提出締切は、8月31日(金)17時です。

提出方法など、詳細については、課題テスト送付時にお知らせします。

なお、課題テストには、追テスト、再テストはありません。

実技テスト

スクーリング時に、実施します。

実技テストが行われる講座については、担当教員に確認してください。

単位認定テスト（期末テスト）実施方法一覧

普通科目

教科	講座名	テスト方法
国語	国語表現 I	筆記
	国語総合 a	筆記
	国語総合 b	筆記
	現代文 a	筆記
	古典 a	筆記
	古文入門	筆記
	国語演習 a	筆記
	国語演習 c	筆記
	地理歴史	世界史 A
世界史 B ㊦		筆記
日本史 A		筆記
日本史 B ㊦		筆記
地理 A		筆記
公民	現代社会	筆記
	倫理	筆記
	政治・経済	筆記
数学	数学基礎	筆記
	数学 I α ㊦	筆記
	数学 I α ㊧	筆記
	数学 I β ㊦	筆記
	数学 I β ㊧	筆記
	数学 II a	筆記
	数学 A	筆記
	数学演習 a	筆記
理科	理科基礎	筆記
	理科総合 A	筆記
	理科総合 B	筆記
	物理 I	筆記
	化学 I	筆記
	生物 I	筆記
保健体育	体育 a	実技
	体育 b	実技
	体育 c	実技
	体育 e	実技
	体育 f	実技
保健	筆記	
芸術	美術 I	課題
	美術 II	課題
	書道 I	筆記
	ペン習字	課題
	暮らしに役立つ書	課題
外国語	オーラル・コミュニケーション I	筆記
	英語 I α ㊦	筆記
	英語 I α ㊧	筆記
	英語 I β	筆記
	英語 II α ㊦	筆記
	英語 II α ㊧	筆記
	英語 II β ㊦	筆記
	英語 II β ㊧	筆記
	リーディング	筆記
	ライティング	筆記
	英語基礎 I	筆記
	韓国・朝鮮語入門	筆記
	英語演習 a	筆記
英語演習 c	筆記	

教科	講座名	テスト実施方法
家庭	家庭基礎	筆記
	家庭総合 a	筆記
	家庭総合 b	筆記
	調理	筆記
	服飾手芸	実技
	情報	情報 A 基礎
情報 A 応用		課題
宗教	体感するキリスト教	課題
	初めて知るキリスト教	課題
	聖書に親しむ	課題
総合	産業社会と人間	課題
	産業社会と人間 B	課題

* 課題研究は、最終のレポート提出がテストとなります。

総合選択科目・自由選択科目

系列	講座名	テスト実施方法
福祉	社会福祉入門	筆記
	福祉実習基礎	筆記
	発達と保育	筆記
	高齢者福祉	筆記
	地域福祉	筆記
多文化共生	私のアイデンティティ	課題
	多文化共生考	筆記
	国際平和セミナー	筆記
ウエルネス	ゴルフ	実技
	からだづくり運動	実技
	ヨガ	課題
	救急法	実技
	海洋スポーツ	課題
エッセイ	エコロジー概論	筆記
	海洋体験	課題
情報処理	文書作成	課題
	表計算 I	課題
	表計算 II	課題
	コンピュータ概論	筆記
	インターネット	課題
自由	ホームページ作成	課題
	情報演習 a	課題
自由	児童文化	筆記

事務室からのお知らせ

【レポートの提出について】

提出されたレポートについて、不備があって返却することが度々ありますので、以下を再度確認してください。

バーコードシールのないものや、貼り間違い、住所・名前の記入のないものは一切受けられません。提出締切日にかかわらず返送しますので注意してください。特にレポートの回数をよく確認して貼るようにしてください。レポート提出は、直接学校へ持参する場合は、事務室受付の提出用ボックスへ入れてください。**提出できる時間は9:15~17:00(平日)**です。なお、一度提出用ボックスへ入れたレポートは、不備等に気付いたとしてもその場での返却はできません。後日の郵送手続きになりますのでよく確認してから提出するようにしてください。レポートを学校へ郵送する場合は、**郵便局の消印日が受付日**となります。レポート提出については、「学務の手引き」7~8頁をよく確認してください。

【レポート等の再発行について】

レポート等配布済みの書類を紛失した場合は再発行の手続きができます。所定の用紙に必要事項を記入のうえ、事務室にて再発行の手続きを行ってください。

レポート、バーコードシールの再発行は、下記の事項を正確に記入して申込んでください。記入がないと再発行できない場合がありますので注意してください。なお、レポートの再発行は原則として次のスクーリング日(月・水・金)となります。

[注意事項]

7月6日(金)レポート提出最終締切日のレポート再発行については、前日5日(木) 17:00までの申込み受付となります。その際は6日(金)13:00に発行いたします。

手 数 料

種類	手数料	申込用紙
レポート(再発行)1枚	50円	「レポート等諸用紙発行願」
レポートバーコード(再発行)	100円	
レポート提出用封筒(1枚)	10円	
個人別時間割	100円	
通学割引証申請カード・ケース	100円	

* 必要記入事項・・・ 学籍番号・名前 講座名 レポート回数

【2007 年度生徒証明書について】

昨年度からの在籍生で、「2007 年度生徒証明書」の発行手続きをしていない生徒は、至急写真提出手続きを行ってください。(所定の提出用紙は事務室にあります。)今年度の生徒証明書がない場合、単位認定(期末)テストが受けられないなど不利益が生じることとなりますので至急手続きを行ってください。また、2007 年度新入生で生徒証明書をまだ受け取っていない生徒は、至急事務室へ申し出てください。

【奨学生募集について】

現在募集中の奨学金について期限等を下記の表に記載しています。申込希望の場合は申請書類一式を事務室に請求してください。

種類	申込書類提出期限
「Y M C A 学院高等学校奨学金」(給付)	6月29日(金) [給付予定8月中旬頃]
日本学生支援機構「大学等奨学生予約」(第二種)3年次生 のみ	8月20日(月) [候補者決定10月頃]

【夏期学校休館に伴う事務取扱いについて】

夏期休館に伴い、事務取扱については8月10日(金)～16日(木)までの間は停止いたします。遠隔地への旅行などに必要な学割申請などについては、8月6日(月)までに申請のあった分については8月8日(水)に発行することができます。即日発行はできませんのであらかじめ申し込んでください。

保健室・カウンセリングルームからの お知らせ



* 冷え症について

梅雨の時期は気分だけでなく、体調も乱れやすくなっています。湿度が高い外気と冷房を効かせている屋内との気温の差が激しくなっているからなおさらです、最近では冷房による冷え症も多いです。ストレス、低血圧、貧血、自律神経の失調、ホルモンバランスの崩れなど身体が冷える原因は様々ですが、ひどくなると、肩凝り、肥満、癌になってしまうこともあるようです。女性の場合は特に、冷えると全身に影響が出ます。不調を感じたらまず温めましょう。

【カウンセリングルーム】

保健室・カウンセリングルーム、及び事務机周辺での食事は禁止です！

* 開室時間と担当者

月曜日：石井邦也さん 13：30 ~ 16：30

水曜日：田中俊英さん 10：30 ~ 14：00

金曜日：小嶋美緒さん 13：30 ~ 16：30

* 保護者の方もご利用できます。

カウンセリングルームについてのお問い合わせ、ご予約は保健室（後藤）まで。

* 前期の開室は7月30日(月)までです。

「はしか（麻疹）の流行について」のお願い

5月の中旬から、各報道によりはしか（麻疹）の流行が伝えられています。近畿各地の大学・高等学校においても、感染者の発生により休校の措置を取っている学校があるようです。つきましては、感染者の発生・感染拡大を防止する為、以下をよくお読みいただき、個人の状態に合わせて健康管理をしていただきたくことをお願いします。

1. はしか（麻疹）について

麻疹ウイルスによるもので、空気中に居るウイルスから（空気感染）、感染者の咳やくしゃみから（飛沫感染）、感染者との接触（接触感染）により感染する、非常に感染力の強い病気です。

感染歴のある人は抗体があるので感染しません。

潜伏期間は10日～20日間です。発症すると、発熱（39度以上の高熱）、咳、鼻炎等、風邪に似た症状が出ます。発熱後、顔面や口の中の粘膜に発疹が出て、これが診断の基準になります。その発疹は2日程度で消失しますが、この時期の感染力が最も強いので、外出は控えてください。

2. ご家庭での対応について

37度5分以上の発熱、風邪に類似した症状がある時は、登校せず医師の診察を受けてください。ご家族の方、またはご家族の方の職場や学校で感染の疑いがある場合は、そのことを病院に伝えてから受診してください。

はしか（麻疹）にかかったことのない人、予防接種を受けていない人は、保健所や医療機関にお問い合わせの上、予防接種を受けられることを推奨します。また、予防接種を受けられた人でも、10年以上経過している場合は免疫機能が弱まっている為にかかることがあります。その場合は、発熱も微熱程度で、発疹も出にくいことがありますので、自己判断をせず、医師の診察を受けましょう。

3. はしか（麻疹）と診断されたら

医師の指示のもとに外出を控えて療養してください。また、学校（担任・養護教諭）に連絡をお願いします。

【連絡先】

TEL 06 - 6779 - 5690（留守番電話の場合は、クラスと名前をお伝えください。）

4. ご確認ください

「学務の手引き」のP4・5とP35を再度お読みいただき、ご確認ください。

生徒支援からのお知らせ



7月9日（月）以降の学校施設利用について

7月6日（金）はレポートの最終締切日です。その後は、通信制の長い休みを利用して長期の旅行やアルバイトを計画されていると思います。また、受験に備えた勉強の機会と考えている人も多いでしょう。ぜひ、貴重な体験を夏の間にとともに、有意義に過ごして欲しいと思います。なお、地理・現代社会（7月） 体育・情報（9月）の集中授業や国際平和セミナー、海洋体験などを登録している人は日程に注意しましょう。

夏休み期間中は学校の利用時間などがスクーリング期間中とは異なります。下記の要項を確認してください。

開校時間：10:30～16:00（土日祝日は除く）

自習室：月・水・金 10:30～16:00（場所は当日掲示）

期間：7月9日（月）～20日（金） 8月分は次号でお知らせします。

なお、学校の都合により利用できない場合もあります。

屋上コート：7月中に利用できる日は以下のとおりです。前日までに電話で生徒支援（福田・齋藤）を通じて予約してください。原則先着順になりますが、お互い譲り合いの心をもって利用しましょう。雨天の場合は利用できません。また、さまざまなプログラムの実施により利用できないことがあります。8月の予定は次号でお知らせします。

利用時間：11:30～14:00

利用可能日：7月11日（水）、7月13日（金）、18日（水）、20日（金）

スクーリング期間中以外でも、「校内生活上の決まり」は守ってください。

校内生活上の決まり

- (1) 自動車・バイク（原付含む）での通学を厳禁します。自転車通学を希望する人は許可を受け、許可証を貼った自転車を使用してください（駐輪場は地下駐輪コーナー）。駐輪スペースに限りがあるので、希望にそえない場合もあります。
- (2) スクーリング（授業）中の携帯電話の使用は禁止です。必ず電源を切っておいてください。
- (3) スクーリング中における私語、他人に対する暴力行為など、他の人に対する迷惑行為は厳禁します。また、自分のスクーリングがなくても、授業時間帯は校内では静かにしてください。
- (4) 生徒（成人を含む）の喫煙は厳禁です。学校内および学校の周辺を含めすべて禁煙です。
- (5) 5階以上の階については、スクーリングのあるとき以外、生徒は立ち入りできません。また、地下についても自転車の駐輪時以外は立ち入りできません。
- (6) スクーリング期間中における学校施設の使用には、あらかじめ学校の許可が必要です。無断での使用はできません。また、スクーリング以外の期間については学校通信で連絡します。
- (7) 学校として開いている期間・時間は、スクーリングおよび期末テスト期間の休日をのぞく月～金の9:15～17:00です（特別行事のある日は変更する場合があります）。学校として開いている期間・時間以外での登校を禁止します。
- (8) 上記以外にも、学校生活において著しく逸脱した行為を厳禁します。

上記の事項を遵守できない生徒は、規定により処分します。

最近、本校生でない外部の生徒が学校に入り込んでいるのを見かけます。授業の妨げになるなど、学校運営上好ましくないので、生徒の皆さんもそういった人たちを連れてこないようにしてください。なお、連れてきた場合は上記の学校生活上決まりと同様、注意処分としますので注意してください。

また、学校相談などの用事がある場合、受付でその旨を教えてください。

進路支援からのお知らせ

* 進学希望者を対象に進研模擬試験(記述式)を下記のとおり実施します。大学・短大等の受験を予定している生徒は、模擬試験が今後の受験校選びの資料となります(模擬試験等のデータがなければ受験校選びが困難になります)ので、積極的に受験してください。(『進学アシストプログラム』の登録の有無(3年次生)にかかわらず受験できます。)

受験希望者は、3階掲示板前に置いている模試案内の申込書に受験料を添えて、下記申込期限までに事務室受付で申込んでください。

なお、他のプログラム等のため、下記日時で受験できない場合は、可能な限り、別時間で実施しますので、事前に担当の松下まで、申し出てください。

記

<実施日> 7月5日(木)

<受験料> 3年次：3,000円 2年次・1年次：2,500円

<申込期限> 6月25日(月)

<時間割> 大学・短大等入試に必要な科目を時間割にあわせて受験すること。

[3年次]

文 系		理 系	
英 語	10:30~12:10(100分)	英 語	10:30~12:10(100分)
登 録	12:10~12:30 (20分)	登 録	12:10~12:30 (20分)
国 語	13:10~14:50(100分)	数 学	A B 13:10~14:50(100分)
地歴公民	15:00~16:00 (60分)		A B C 13:10~15:10(120分)
数 学	15:00~16:40(100分)	理 科	1科目め 15:20~16:20 (60分)
数 学	16:10~17:50(100分)		2科目め 16:30~17:30 (60分)

[2年次]

7月5日(木)	
数 学	10:30~12:10(100分)
英 語	12:50~14:10 (80分)
登 録	14:10~14:25 (15分)
国 語	14:35~15:55 (80分)

[1年次]

7月5日(木)	
数 学	10:30~11:50 (80分)
英 語	12:30~13:30 (60分)
登 録	13:30~13:35 (5分)
数 学	13:45~15:05 (80分)

<成績表返却> 8月中旬の予定です。なお、答案はパソコンで画像処理されたものを返却します。

* 2008年度指定校推薦入試等に際して、現在、以下の大学から指定校等の案内が来ています。学部・学科名、推薦条件等詳細は、進路支援部(担当松下)におたずねください。なお、出願方法等は追って連絡します。

< 指定校推薦入試 >

千歳科学技術大学、国際基督教大学、東京工芸大学、山梨英和大学、北陸大学、京都創成大学、種智院大学、大阪樟蔭女子大学、大阪商業大学、大阪女学院大学、大阪成蹊大学、帝塚山学院大学、常磐会学園大学、羽衣国際大学、神戸夙川学院大学、神戸山手大学、奈良産業大学、インターナショナル・パシフィック大学、国際短期大学、大阪薫英女子短期大学、大阪成蹊短期大学、四條畷学園短期大学、神戸山手短期大学、兵庫大学短期大学部

* 主な大学・短期大学・専門学校のご案内書を進路支援部で取り寄せています。生徒のみなさんも閲覧することができますので、進路支援部まで申し出てください。また3階掲示板前廊下においている資料は、自由に持ち帰ることができますので、積極的に活用してください。

* 既にご案内していますように、卒業予定者の保護者の方を対象に『保護者会とともに進路を考える会』を6月30日(土)10:00より実施します。保護者のみなさんは、ぜひ、ご出席ください。

《大阪 YMCA からのお知らせ》

高校生のためのワークショップ

～健康で活力のある社会をめざして～

このワークショップでは、高校生と高齢者がともに行う里山生活体験活動を通し、高校生が高齢者から「豊かな人生とは」をさまざまな角度から学ぶ機会となります。

日時 : 7 / 2 2 (日)、8 / 3 (金) 9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
7 / 2 5 (水) ~ 2 6 (木) の1泊2日 計4日間

場所 : 7 / 2 2、8 / 3 (大阪YMCA会館)
7 / 2 5 ~ 2 6 (里山の自然学校 紀泉わいわい村)

主催 : 財)大阪YMCA、社福)朝日新聞厚生文化事業団、財)大阪府地域福祉推進財団

後援 : 大阪府教育委員会、大同生命厚生事業団

申し込み: ハガキかFAX、メールで[住所][氏名][年齢][性別][学校][学年]を書いて
下記へ。〆切は7月10日。定員を超える場合は抽選。
詳細は折り込み印刷をご覧ください。

〒550-0001

大阪西区土佐堀1丁目5番6号

大阪YMCA 中高齢者事業推進室

「高校生ワークショップ」係

TEL: 06-6441-5088

Fax: 06-6445-0297 (担当: 重信)

E-mail: senior@osakaymca.or.jp



6月の聖句

「お前たちは立ち帰って、
静かにしているならば
救われる。」

(イザヤ書30章15節)

中国最古の詩集、詩經の一に「殷鑑（いんかん）遠からず」という言葉があります。殷王朝は前代の夏（か）が滅亡したところを鑑（かがみ）として戒めよという意味だそうです。失の敗の先例は遠くにも求めなくとも、すぐ目の前にあるというです。今月の聖句は預言者イザヤの預言の言葉です。当時アツシリアが破竹の勢いで周囲の国々を制圧してサマリヤをも滅ぼしたエジプトから、エルサレムは明日はわが身という危機を覚悟してエジプトに助けを求めました。それは却ってサマリヤとエジプトの舞にならぬという警告が、この聖句の指し示していることと見なす。エジプトの指導者たちは、神に立ち帰るという信仰の姿勢を否定するこも静かにしていることと鬼気迫るとを学ばねばなりません。神の支配に任せて静まらなるとは救われぬ、この聖句に基づく判断は今の日頃憲法を変えてるでも米国とは相反するのだと指し示しています。や意図していることとは相異なるのだと指し示しています。主の平和を祈りましょう。

(日本キリスト教団 中谷哲造牧師より)



2007年度 大阪YMCA年間聖句

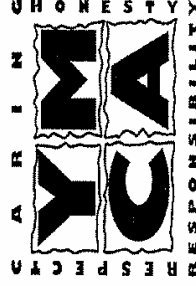
「いつも喜よろこんでいなさい。

絶たえず祈いのりなさい。

どんなことにも感謝かんしゃしなさい。」

テサロニケの信徒への手紙一 5章 16-18 節

Raising strong children and building a loving community



OSAKA YMCA

Since 1882

C A R I N G
Y M
R E S P E C T H O N E S T Y
C A
R E S P O N S I B I L I T Y